

藤沢市湘南台文化センターこども館 宇宙劇場 20年目の大变身!

中村有紀

〈藤沢市湘南台文化センターこども館 〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台 1-8〉

e-mail: nakamura@kodomokan.ddo.jp

当館は、館名に「科学」がつきません。展示ホールには世界の民族楽器や絵本もあります。そのため忘れられてしまうことも多いのですが、プラネタリウムは科学が得意で、一部では有名です。年少の子供向けから大人向けまで、語り口さまざまに宇宙を語っています。

1. はじめに: 全面更新しました

藤沢市湘南台文化センターこども館宇宙劇場(図1)は、1989年7月にオープンし、2009年7月に、20年ぶりの全面リニューアルを果たしました。

投影される星は約一千万個。双眼鏡で見ると暗い星や星雲も本物のようにぼんやりと見えるというリアルなものです。

そして、最も大きな変化は全天デジタル映像の導入です。従来のスライド投影に比べ、よりダイナミックな宇宙を描くことができます。恒星や銀河の三次元データも入っていますから、恒星間飛行や銀河間飛行なども映像化できます。これは、旧来

のプラネタリウムが地上から見た星空に限定されていたことと比べ、大きな、そしてうれしい進歩です。その機能を使いこなすべく、日夜、膨大かつ煩雑で説明書のないプログラムと格闘中です。

2. プラネタリウム番組

2009年7月号に、リニューアルオープン番組の広告を載せていただきました。「天文月報」には似合わせSFタッチの絵で、少し浮いたかな、とも思いますが、この「スペース・レスキュー・シリーズ」はSF風のストーリーにがっちり科学解説を入れ込んだ、当館の長寿シリーズです。加速膨張する宇宙に反比例するかのような予算に耐えて不定期にリリースしています。

そのほかにも、幼児から小学校低学年向けのキッズ番組があり、どれも当館メンバーが企画・脚本、時には映像制作も担当します。

3. 学校向け学習投影

平日の昼間にあります。学年ごとに番組をご用意しています。これらは、藤沢市の学校の先生方で組織された委員会で企画・構成され、当館メンバーが脚本と一部CGを担当しています。市内のすべての小学校と、市外からもたくさんのお見学があります。

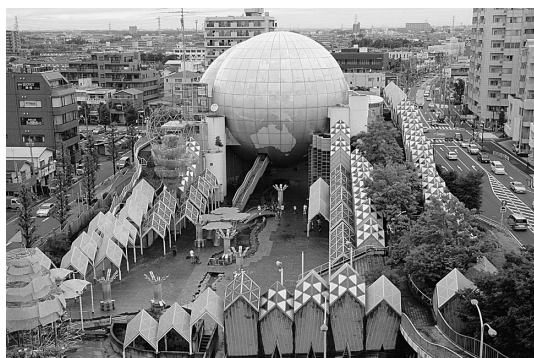


図1 建物全景。目印の巨大な地球儀が、プラネタリウムでもあります。

幼稚園，保育園のご利用も多く，数種類のキッズ番組をご用意しています。

4. イベントさまざま

日食月食などの観望会や，定期の観望会，天文教室，そして「星空のコンサート」が年6回，ほぼ定期的にあります。完売続出の人気イベントです。演奏家さんとのつながりも広く，深くなってきました。クラシックを中心に毎回さまざまなジャンルの曲や楽器が登場します。演劇や朗読のイベントもあります。

ヒーリング音楽と星空のイベントも好評です。

学校での観望会に望遠鏡とともに呼ばれていたり，先生方の勉強会に呼ばれていたり，外へ出ていく活動もしています。

5. 基本はオリジナル

当館はオリジナル作品が主力です。流行りのアニメキャラを使った作品のように知名度は上がりませんが，基本設定から作ること宇宙の話題がスムーズかつ豊富に入れられます。藤沢市ならではの話題を入れられることも強みです（図2，図3）。

6. 人気の生解説もついています

プラネタリウムは上記のオート番組に，解説員の生解説がついています。ほぼ半々の時間配分です。

特に学習投影では，事前にその学校の先生と打ち合わせ，ご希望に沿った内容で生解説を行っています。時々愉快的リクエストがあります。

今回のリニューアルでは，期せずして解説員もほとんど入れ替わりました。このご時世で欠員募集もままならず，どうなるかと思いましたが，SOSに答えて強力な助っ人が来てくれました。現在は，天文学を学んできた宇宙の専門家と，声優・俳優を本業とする語りの専門家による（即席）混声解説団でハイレベルな生解説をお送りしています。

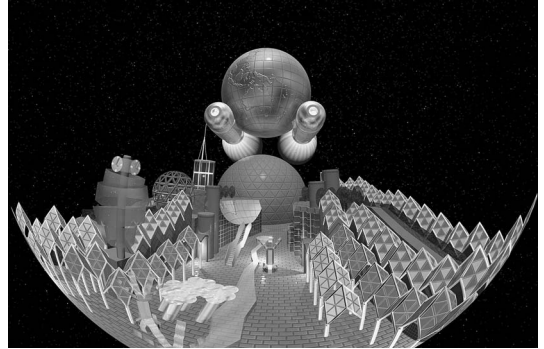


図2 小学校向け学習投影から。プラネタリウムドームが宇宙船になって飛び立ちます。CGは当館職員（私）。ウケてます。

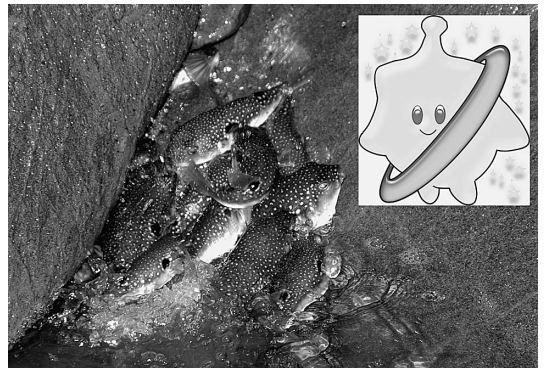


図3 小学校向け学習投影から。市内の海岸に産卵しに来たクサフグ。初夏，満月と新月の日に集団で現れます。宇宙人君は登場キャラで，藤沢市立小学校の先生によるもの。

7. おわりに：発見と挑戦と星になる日々

私たちは，現場の投影はもちろん，企画，脚本，映像制作や音楽プロデュースなど，さまざまなことを手がけています。天文学は総合科学だといいますが，プラネタリウムは総合芸術の側面もあると感じています。自分の思わぬ才能（のなさ）に気づくこともあり，発見と反省のスリル満点な毎日です。

年々悪化する情勢で，人員と予算は大幅減少，サービスは大幅増加が求められています。最近は何れに挑戦の日々で身も心もオーバーヒート気



図4 リニューアルオープン番組のスペース・レスキュー・シリーズ、脚本は当館職員、制作は(株)五藤光学研究所。

味、そろそろ熱量余って相転移、風か星になってしまいそうです。そのときは、宇宙から星の世界をレポートします！

[基本データ]

藤沢市湘南台文化センターこども館
〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台 1-8
TEL: 0466-45-1500
<http://www.kodomokan.fujisawa.kanagawa.jp/>

[アクセス]

小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄 湘南台駅 G・E 出口より直進 徒歩 3分

[料金]

宇宙劇場 大人 500円 中学生以下 200円
展示ホール 大人 300円 小中学生 100円

(団体料金あり。宇宙劇場のみご利用の場合、展示ホール料金は必要ありません)

[2009年度 投影作品]

- 一般向けプラネタリウム (今夜の星空生解説付き)
「スペース・レスキュー・シリーズ 宇宙の果てをめざせ！」(図4)

SF仕立てで宇宙の階層構造を見せる。

「オリオン座～輝く星と星雲を探る～」

オーソドックスな科学解説番組。大人に好評。

「まわる宇宙～自転・公転の話～」

地球や月などの自転公転のイメージをつかむ。

- キッズプラネタリウム (今夜の星空生解説付き)「たいようとブカブカ」

日なたで昼寝をしていた猫は、いつの間にか日陰にいてびっくり。太陽の日周運動を易しく。

- 全天周映画 良い作品の配給を受けています。

「銀河鉄道の夜」

「宇宙エレベータ」

- 学習投影 (生解説付き)

小4、小6、中学向けの3種から選択できる。教科書を網羅するオート番組と各学校の希望に添った生解説。

- ほか各種イベントなど